

教育子午線

Kyoiku-Shigosen

June
2008

●創立30周年特別企画

全国の教育現場に
必要とされる人材を
送り続けて30年

●教育最前線

働きながら大学院に通い
教育実践力を身に付ける

●研究レポート

食品成分は環境汚染物質の毒性を
軽減する機能を有するか

●私たちの先生

新山真弓准教授(体育・芸術教育学系)

●キャンパス通信

●うれしの交差点

よさこい部「チームほおすき鬼灯」

「確かな学力」という言葉で表現されているものは、イメージ的に言えば「テストの点数だけでない学力」「受験学力だけではない学力」。言い換えるならば「上辺だけの学力でない」「その場限りの一時的な学力でない」ということでしょうか。

学習指導要領の改訂についての中教審の答申(平成20年1月)でも、改正学校教育法(19年6月)でも、「確かな学力」の具体的な内容については①基礎的・基本的な知識・技能の習得②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等③学習意欲から成るものと説明しています。

これはこれでいいとしても、いかにも要素集成的で統一したイメージとしては捉えにくいものです。結局、「確かな学力」とは何であるのか、その育成とはどういうことなのかをもっと明確化しなければなりません。

私はこれを「能動的な知性」という言葉で表現します。「知性」とは、人類の学名「ホモ・サピエンス」の「サピエンス」であり、またその原語となった「サピエンティア」です。これこそが種としての人の本質的な特性であり、他生物にはない誇るべきところと古来言われてきたものです。

「知性」とは「多くの物事をよ

能 動 的 知 性 と し て の 「 確 か な 学 力 」

く知り」、そうした知識や理解を活用しつつ「さまざまなことについてよく考え、妥当適切な結論を得る」ことができる力です。当然のことながら、そうした「知性」は受け身の姿勢のままでは十分に発揮されません。能動性の中で、前向きな意欲的な姿勢の現れとして発揮されることとなります。

このような「知性」を身に付けておけば、自らの感情に流されることなく、また周囲の雰囲気や埋没することなく、常に冷静かつ的確に物事を判断できます。この意味において「知性」はまた「理性」の重要な土台ともなるはずですが。



勉強や努力を嫌って安易さのみを求めた「ゆとり教育」の気風を今こそ一掃したいものです。
「反知性主義」は学校教育の敵であることを教育関係者の誰もが再確認し、「能動的な知性」の育成にあらためて意欲的に取り組んでいくべきではないでしょうか。

学長 梶田 叡一

2月

- 2日**
◎小野市との連携協定記念特別公開講座「子どもの学びへの関心を伸ばす家庭リソース(資源)」
- 6日**
◎三木市との連携協定記念特別公開講座「これからの学校はどうなるか」
- 7日**
◎附属中学校立志式
- 9日**
◎大学院学校教育研究科説明会(神戸)
- 13日**
◎学部推薦入学者選抜試験合格者発表
- 16日**
◎北播磨地域学習フォーラム「北播磨の魅力を拓く-豊かな自然との共生-」
- 17日**
◎大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験
- 19日**
◎附属中学校入学選考結果発表(2次)
- 20日**
◎大学院連合学校教育学研究科

【目次】

- 04 創立30周年特別企画
全国の教育現場に必要とされる人材を送り続けて30年
- 08 教育最前線
働きながら大学院に通い教育実践力を身に付ける
- 12 研究レポート
食品成分は環境汚染物質の毒性を軽減する機能を有するか
岸田恵津(自然・生活教育学系教授)
- 13 教育時事一問一答
教員の著書紹介
- 14 私たちの先生
新山眞弓准教授(体育・芸術教育学系)
- 15 卒業生からの手紙
- 16 キャンパス通信
- 18 うれしの交差点
ダイナミックなよさこいで地域住民との交流の輪を広げます
よさこい部「チーム鬼灯」
- 20 兵庫教育大学からのお知らせ

は じ め ま し て



なかむら ななこ
中村菜々子
(臨床・健康教育学系准教授)

4月1日に着任し、学校心理臨床研究分野を担当しています。これまで2つの大学の研究センターで助手、広島市内の私立大学で講師を務め、生涯発達、すなわち子どもから成人、高齢期までのさまざまな局面で生じるストレスへの有効な対処と予防に関する研究と実践について、認知行動療法の観点から取り組んできました。今後も研究、実践、教育の充実に精一杯取り組みます。よろしくお願ひします。

4月

- 入学者選抜試験合格者発表
- ◎附属小学校入学選考結果発表(2次)
- 25日~26日**
◎学部前期日程入学者選抜試験
- 27日~29日**
◎附属小学校うれしのフェスティバル

4日

- ◎大学院学校教育研究科入学式
- ◎学部入学式
- ◎教職大学院開設記念式典



3月

- 6日**
◎学部前期日程入学者選抜試験合格者発表
- 8日**
◎附属中学校卒業証書授与式
- 12日**
◎学部後期日程入学者選抜試験
- 17日**
◎附属幼稚園修了証書授与式
- 18日**
◎附属小学校卒業証書授与式
- 20日**
◎学部後期日程入学者選抜試験合格者発表
- 21日**
◎大学院学校教育研究科学位記授与式
- ◎学部学位記授与式

9日

- ◎附属小学校・中学校入学式
- 10日**
◎附属幼稚園入園式
- 11日**
◎大学院連合学校教育学研究科入学式
- 16日**
◎日韓教育大学学長懇談会



5月

- 7日~6月25日**
◎公開講座「和文化体験講座-居合道の理念と技法-」(全8回)
- 10日~6月21日、9月6日~10月18日**
◎公開講座「楽しくてうまくなるテニス教室」(全14回)
- 17日~7月5日**
◎公開講座「“コミュニケーション”を問い直す-信頼し合える人間関係を築くために-」(全8回)
- ◎大学院学校教育研究科(夜間クラス)学位記授与式
- 24日**
◎大学院連合学校教育学研究科学位記授与式



June, 2008

創立
30周年
特別
企画



卒業生と修了生の活躍こそが 30年間の一番の功績



名須川 知子
基礎教育学系教授

兵庫教育大学は、全国の国立大学教員養成学部における教員就職率が平成10年から現在までトップクラスにあり、ここ4年は連続して全国1位に輝いています。兵庫教育大学は教員をめざす人にとって「夢を現実にする大学」といえるでしょう。

しかし、教員就職率という数値的な指標はもちろんですが、卒業・修了後の一人一人の活躍こそ、大学がこの30年間で果たしてきた功績ではないでしょうか。例えば、

全国の教育現場に 必要とされる人材を 送り続けて30年

今から30年前の昭和53年10月、兵庫教育大学は、主に現職教員を対象に、教師教育を行う大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学校教育学部を持つ、新構想の教員養成大学として創設されました。その後、平成8年度に連合大学院博士課程、20年度には専門職学位課程（教職大学院）を設置。卒業・修了生は延べ1万1000人以上にのぼり、その多くは全国の教育現場で活躍しています。

教師教育や教員養成に取り組む一方で、創設当初から「社会に開かれた大学」を掲げ、大学が有する知的・人的・物的資源を活用し、社会貢献活動にも力を入れてきました。

教員就職率

学校教育学部卒業者の
年度別就職状況の推移

調査対象:3月卒業者(留学生を除く)
※各年9月30日の時点で集計
※全国順位は教員養成課程のある
国立48大学の中でのもの

卒業年度 (平成)	教員 就職率	全国 平均	兵庫 教育大学の 全国順位
9	43.8%	34.8%	7位
10	44.0%	32.0%	3位
11	50.5%	33.7%	1位
12	57.1%	37.8%	2位
13	68.4%	45.0%	1位
14	69.9%	52.2%	2位
15	74.2%	55.5%	1位
16	82.1%	56.4%	1位
17	76.9%	56.2%	1位
18	79.7%	56.9%	1位

昭和50 (1975) 年11月1日

53 (1978) 年10月1日

55 (1980) 年4月1日

4月10日

63 (1988) 年11月19日

平成8 (1996) 年4月1日

10 (1998) 年10月23日

12 (2000) 年4月1日

16 (2004) 年4月1日

18 (2006) 年9月23日

20 (2008) 年4月1日

1998



開学20周年記念シンポジウム

1996



連合大学院第1回入学式

大学の知的・人的・物的資源を 地域社会に還元



田中 雅和
社会・言語教育学系教授

大学が取り組む社会貢献活動とは、諸研究の成果を社会のニーズに合わせて還元することです。兵庫教育大学でも知的・人的・物的資源を活用し、さまざまな社会貢献事業を展開してきました。平成14年には「地域交流推進センター」を設置し、地域との連携事業を円滑に進める体制を整えました。

現在の主な社会貢献事業としては、教育機関との連携による現職教員の研修支援プログラムの開発、一般市民も対象とした公開講



学部卒業生は、卒業後すぐには学校現場であまり目立つ存在でないかもしれませんが、5年、10年が経つにつれていぶし銀の輝きを放ち始めます。そういう現場からの声はよく耳にしますし、私自身も実際に何度も目にしました。

大学院修了生も理念を持ち、地道に兵庫教育大学で学んだことを生かしている姿によく出会います。彼らは大学院時代を振り返り、「疑問を解決する思考法を学んだ」「今までの教師としての生き方を顧みることができた」などと話します。

現職教員である大学院生たちがキャンパスで生き生きと語り合っている様子を見るにつけ、それぞれが充実した学生生活を送っているのだと喜びを感じます。学部生は、社会経験を積んできた大学院生が多くいる環境で生活しています。これは他大学と大きく異なる部分であり、学部生は異口同音に「学年が進むにつれて、この環境が楽しくなる」と言います。

大学にとって大切なことは学生の成長とその後の発展です。兵庫教育大学は学生が自らの能力を伸ばすことのできる絶好の環境でしょう。卒業生や修了生たちのさらなる活躍を祈っています。

30年のあゆみ

文部省内に「教員大学院大学創設準備室」を設置

兵庫教育大学開学

学校教育学部を設置（57年度から学生を受け入れ）

大学院学校教育研究科（修士課程）設置

附属小学校・幼稚園第1回入学（園）式

開学10周年記念集会

大学院連合学校教育学研究科（博士課程）設置

開学20周年記念式典（シンポジウムほか）

大学院神戸サテライト設置

連合大学院大阪サテライト設置

大学院連合学校教育学研究科（博士課程）創立10周年記念式典

教職大学院設置

2008



教職大学院開設記念式典

2006



連合大学院創立10周年記念式典

2000



神戸サテライト開所披露式

近隣市との連携協議会



学校管理職・教育行政職特別研修



スクールパートナーシップ事業



北播磨地域学習フォーラム



公開講座

座や講習会などがあります。学校現場や生涯学習の場などに大学教員を講師として派遣する「スクール・パートナーシップ事業」、子どもの心理や発達、学校教育などに関する種々の相談室も多くの人が利用しています。

文化的な活動にも活発に取り組んでおり、芸術系コースの教員や学生による音楽会や美術作品の展覧会を定期的に開催しています。北播磨の自治体や住民とともに地域の歴史や文化、産業、芸術、自然など多分野にわたる「北播磨地域学」の創造にも力を入れていきます。

これからも、公開講座を中心とした大学開放事業や社会連携事業などを通して、地域の教育、学術、文化の進展に寄与していきたいと考えています。



梶田 毅一
学長が語る

兵庫 教育大学の

これから の ビジョン

3つの ミッションを柱に

30年前、新構想大学として創立された兵庫教育大学には3つのミッション（使命）があります。まず、現職教員を大学院で再教育して、日本の教育界のレベルアップに貢献すること。次に、学部学生と大学から直接大学院に入学

6年制の 教職課程を視野に

1つ目のミッションの一環として今年、教職大学院を新設しました。本学以外にも教職大学院は設置されましたが、定員100人も規模は全国最大です。多くの現職教員に高度な研修をしてもらいたいと考えています。

したストレートマスターを教育して高度な力量を持った教員に養成すること。最後に、新しい教育実践についての研究を推進することです。

本学の将来の発展を考えるには、この3つのミッションをより骨太に、より高度なカタチで展開していくことが必要だと考えます。

使命感を持った 教員を養成

現職教員に対しても、これから教員をめざす学生に対しても、「使命感」を持った教員になっていただかなくて

はいけません。現在の教員養成には、戦前の師範教育が持っていた「自分の生涯を教育に捧げる」という気概が薄れてしまった感があります。本学では講義や実地教育などを通して、教員としての使命感を培っていききたいと思えます。

教員の仕事は未来志向的です。子どもたちは将来の社会の担い手です。ものづくり産業は製品を数年先の社会にどう合わせるかという見通しを立てますが、人づくりの場合は10年先、20年先の社会をどのようにしていくかを考えなくてはなりません。将来あるべき人の姿、あるべき社会の姿を考えられる教員を育てたいと考えています。

関係機関と より深い連携を

1つ目と2つ目のミッションを果たすために欠かせないのが、3つ目の新しい教育実践研究の推進です。教員の仕事は未来志向的と言いましたが、将来の世の中の在り方を予測できるよう、哲学や歴史、人間論、社会論などをきちんと押さえたカリキュラムづくりにもっと注力しなければなりません。教育方法学や心身発達学について理解を深めることも大切です。

本学の教育実践の研究実績は全国でもトップクラスですが、未着手の領域もあり、研究方法にも課題があります。それを補うための研究者の招へい、学内の研究チームの再編成を考えています。

3つのミッションに取り組むうえで、本学は象牙の塔になってはいけません。例えば、教育実践研究の推進には教育現場との連携が必要不可欠であり、教育行政機関とのつながりもより深めていかなければなりません。また、文科省や国立教育政策研究所などと連携を密にしなければ、せっかくの研究成果も国の教育政策に反映させることができないでしょう。そういう意味で、よりいっそう開かれた大学にしていかなければならないと考えています。

兵庫教育大学 教育研究振興基金へのお願い

創立30周年を迎えるにあたり「兵庫教育大学教育研究振興基金」を設立しました。この基金は、みなさまからのご協力をいただきながら、教育研究の充実を図り、社会から信頼される教員を養成するという使命を一層果たしていくことを目的としています。昨年に募金活動を開始して以来、修了生・卒業生、在学生、保護者、近隣市町、関係企業、教職員OB・OG、教職員など多くの方々からの支援をお願いしています。募金は9月30日まで受け付けています。

〒兵庫教育大学教育研究振興基金事務局(総務部総務課秘書室内)

TEL 0795-44-2406, 2333 FAX 0795-44-2009

E office-hisyo-r@hyogo-u.ac.jp

http://www.office.hyogo-u.ac.jp/gen/kikin/index.html



鳥根県松江市立湖北中学校校長

いわ た す す む
岩田進さん

大学院学校教育研究科

鳥根県出身。昭和55年、大学院学校教育研究科言語系コースに入学。修了後、鳥根県内の小中学校に勤務。教頭、県教育委員会指導主事を経て、平成11年から中学校の校長に就く。現在の松江市立湖北中学校で3校目。大学院同窓会鳥根支部会長。

かけがえのない 歌仲間との出会い

大学院学校教育研究科の1期生の中に、「沖繩タイムス」歌壇の選者、平山良明先生がいました。入学から2カ月が過ぎた昭和55年6月、友人の一人が発起人となり、平山先生に短歌を師事する同好者が集まって「短詩型文学同好会(嬉野台短歌会)」が誕生しました。会員の中で自眉だったのが、第7回例会から参加された長谷川孝士教授(現兵庫教育大学名誉教授)で、1期生が修了後の10年間、第89回まで会のお世話をいただいたものです。



大学図書館で貸し出しています

記念に出版した歌集「**群星**」にはこんな作品が収められています。

▶しろき風さつと捨て去り娘らはペダル踏みゆく津和野路の夏 岩田進

▶一かたを向きて静止のとき保つ葦への鶯の厳しき孤独 長谷川孝士

▶畜生ですら殺し合うことはすまいと思ふ韓国軍隊は市民を殺す(光州事件) 平山良明

畏友、平山先生が鳥根に雪を見に家族でいらしていた時には、わが家でお嬢さんが琉球舞踊を舞い、近所の人も見物したことがありました。現在、鳥根県の同窓生は136人を数え、県教育界の「群星」としてきら星のごとく光彩を放っています。



世帯寮で暮らしていたころ(右端が岩田さん)

1期生からのメッセージ



放送部の部長でした

OBS大分放送勤務

ひらの けん
平野賢さん

学校教育学部



西宮市出身。昭和57年、大分県立大分舞鶴高校から学校教育学部生活・健康系コースに入学。62年、(株)大分放送(OBS)に入社。アナウンサーとして9年間ラジオ、テレビに出演した後、ラジオディレクターを経て、平成20年から総務部に勤務。

一からつくる喜びに 満ちた学生生活

創立30周年おめでとうございます。学部1期生も卒業から22年、多くは中堅の教員として、また私のように民間企業に就職した者は中間管理職として、仕事に家庭にいろいろと悩みの多い年代

を迎えました。時折、あの楽しかった日々、キャンパスに吹いていた風のにおいを思い出します。

街に松田聖子や中森明菜の曲が流れ、CDやテレホンカードが登場した昭和57年、私たち学部1期生200人は世の流行とは無縁な嬉野の丘にやって来ました。先輩がいない1期生ですから何かと苦



放送部の仲間と(右端が平野さん)

労が多かったと言いたいところですが、実際は寄宿舎生活やクラブ活動、嬉望祭の立ち上げなど、何もかも一から皆でつくり出す喜びを満喫した大学生活でした。私は、森田啓之(現体育・芸術教育学系講師)、木村健二(現小学校教諭)とともに會田勝研究室で学びました。教員採用試験も受けずに放送局のアナウンサーをめざした風変わりな学生(私)が無事に卒業できたのも、

恩師の温かい指導、配慮によるものと感謝しています。最近、私が住む地域の中学校で問題が起きました。私も朝のあいさつ運動や校内見回りに参加し、教員の苦悩を目の当たりにしました。教職に就いていない私が言うのも僭越ですが、学校や教員を取り巻くさまざまな制約をものともしない頑丈さ、力強さが今、求められていると思います。教員養成大学の役割がますます重要になる中、兵庫教育大学のさらなる発展を期待しています。

兵庫教育大学 創立30周年記念行事

「未来を担う教師を創る」

創立30周年を迎える今年10月を中心に、「未来を担う教師を創る」をテーマにさまざまな記念行事を開催します。

▶▶ 記念講演* 記念式典
10月11日④ 兵庫教育大学講堂
講師:山崎正和氏(中央教育審議会会長)

▶▶ 記念祝賀会*
10月11日④ 加東市やしろ国際学習塾

▶▶ 記念音楽会*
10月11日④ 加東市やしろ国際学習塾
クラリネットを中心とした吹奏楽オーケストラが

ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱」の終楽章を演奏。音楽専攻の学生らの合唱とオーケストラによるアンサンブル。

▶▶ 記念美術展*
10月11日④~20日⑧ 加東市やしろ国際学習塾
10月21日⑩~26日⑩ 滝野図書館ギャラリー(加東市)
美術分野の教員の作品展です。

▶▶ 大学公開*
10月13日⑧⑩ 兵庫教育大学加東キャンパス

▶▶ 加東市協賛事業*
10月~11月 加東市やしろ国際学習塾ほか
加東市からの要望により、大学教員が中心となって芸術・文化、スポーツ、子育てなどに関する

行事を開催します。

▶▶ 記念公開講座
10月~11月 加東市など
加東市など北播磨地域5市1町との連携による記念公開講座。「歴史と文化フォーラム」「子育て関連出前講座」「小・中学生のためのキャリアフェア」などを予定しています。

▶▶ 大学院同窓生の集い
10月11日④ 兵庫教育大学加東キャンパス

▶▶ 国際シンポジウム2008「教員リカレント教育の新たな可能性を求めて—大学院における実践事例の国際比較—」
10月26日⑧ 神戸新聞松方ホール
韓国、中国、米国の教員養成大学の教授らを招き、教員の再教育について議論します。兵庫教

育大学教育・社会調査研究センター主催。

▶▶ 兵庫教育大学三十年史の刊行

記念行事のほか、教育研究に関する記念事業も実施します
●教育実践学の研究教育拠点の形成事業(教材文化資料館の設立)
●アジア教育交流基金の設立計画
●教育研究環境の整備事業

※は加東市と加東市商工会が中心となって発足した「兵庫教育大学創立30周年記念事業協賛会」と兵庫教育大学の主催行事です

▶▶ 記念事業についての問い合わせ
兵庫教育大学総務部総務課秘書室
TEL 0795-44-2333 FAX 0795-44-2009
E office-hisyo-r@hyogo-u.ac.jp



長尾 義人
ながい よしひと
体育芸術教育学系准教授

働きながら大学院に通い 教育実践力を身に付ける

さまざま

制度を通して

夜間クラス生を

バックアップ



神戸ハーバーランドの神戸情報文化ビルの3階にあります

近年、多くの大学が夜間コースを開設し、社会人学生の受け入れを積極的に進めています。兵庫教育大学の大学院でも平成12年、全国の教員養成大学に先駆けて神戸市中央区に夜間コースの授業を行う「神戸サテライト」を開設しました。

現在、修士課程の9コースと専門職学位課程（教職大学院）

の2コースを「昼夜開講制」としており、夜間クラス生も希望すれば加東キャンパスでの昼間の講義（集中講義を含む）を

◎昼夜開講制コース一覧

修士課程	学校教育学専攻	教育コミュニケーションコース
		幼年教育コース
		学校心理学コース
		臨床心理学コース
修士課程	特別支援教育学専攻	一部の授業科目のみ開講 ※夜間クラス生は募集していません
	教科・領域教育学専攻	言語系コース
社会系コース		
自然系コース		
芸術系コース		
生活・健康・総合内容系コース		
専門職学位課程 (教職大学院)	教育実践高度化専攻	授業実践リーダーコース
		心の教育実践コース

兵庫教育大学大学院では修士課程の9コースと専門職学位課程（教職大学院）の2コースを「昼夜開講制」にしており、昼間は教職などの仕事に就いている人にも学びの機会を提供しています。昼夜開講制のあらましと夜間クラスの授業を行う「神戸サテライト」を紹介します。

授業は少人数制で、活発に意見が飛び交います



履修できます。

昼夜開講制のほか、通常2年の修学期間を3年に延長できる「長期履修学生制度」も導入しています。夜間クラス生がゆったりとしたペースで授業や研究指導を受けられ、仕事と学業の両立がしやすい環境を提供しています。

夜間クラスの授業は1日2時限で、*6時限目が18時30分〜20時、7時限目が20時10分〜21時40分です。仕事を終えてからサテライトに通学することを十分に考慮した時間帯に設定しています。どのコースも少人数制なので、きめ細やかな指導を受けられます。

*加東キャンパスの昼間クラスの1〜5時限から数えて夜間クラスの授業は6、7時限となります。

パソコンや図書

充実を努め

一般の人が利用できる

相談室も開設

神戸サテライトは昨年4月、神戸ハーバーランドにある「神戸情報文化ビル」に移転しました。新しいサテライトには講義室が6室、演習室が10室、コンピュータ室があり、演習室とコンピュータ室のパソコンは自由に使える

ゆったりと3年かけて 授業や研究に取り組める 長期履修学生制度

夜間クラス生には昼間は働いている人が多いです。

大学院では2年で規定の授業を履修することが原則ですが、長期履修学生制度を活用すれば3年かけて授業や研究指導が受けられ、仕事と学業の両立がしやすくなります。

▶▶ 長期履修を申請できる人

夜間クラス志願者
理数系教員養成特別プログラム受講申請者

▶▶ 授業料(年額)

授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(3年)
*通常の2年分の授業料を3年に分割して納入することになります

長期履修学生制度に関するQ&A

Q 夜間クラスを志願すれば自動的に制度が適用されるのでしょうか。また、加東キャンパスの昼間クラス生などには適用されないのでしょうか。

A 大学院を志願された際に制度の適用を申請し、大学が適切な申請理由であると認めた人に限ります。加東キャンパスの昼間クラス生には適用されません。ただし、理数系教員養成特別プログラムの受講者については履修科目が多いことなどから全員に適用されます。

Q 制度の適用を受けていたが、在学途中で休職が可能になり学業に専念できるようになった場合は予定よりも早く修了でき

ますか。逆に、勤務の都合などにより、途中から制度の適用を受けられますか。

A 前者は1年次の2月末までに申請し、許可を得られれば2年で修了できます。後者も1年次の2月末までに申請し、理由が正当と判断されれば制度が適用されます。

Q 長期履修学生が1年間に履修登録できる単位数は。

A 大学院の授業科目については年間30単位、3年間で90単位(3年間通して受講する課題研究<8単位>は含まない)まで登録できます。修了に必要な単位数は、修士課程で32単位、専門職学位課程(教職大学院)で50単位(うち実習科目の10単位は免除できる場合あり)です。



休憩時間は夜景を見ながら、ほっと一息



教育関係の書物がそろった図書室。蔵書検索のパソコンもあります

私たちの心理臨床実習の場でもあります。このように神戸サテライトには、加東キャンパスと遜色のない設備、機能が整っています。夜間クラス生の学業に対する熱意と向学心に応えるサテライトは、兵庫教育大学の知のイルミネーションとしての役割を果たしています。

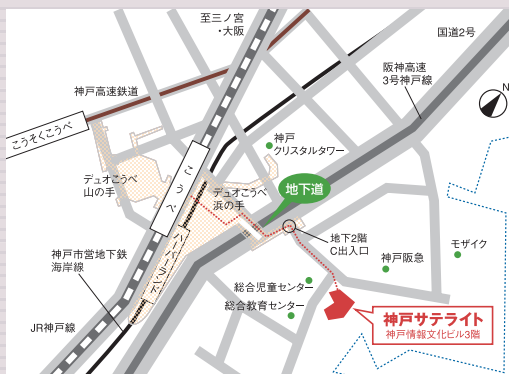
の相談室は臨床心理学コースの学生に関する教育関係者へのコンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。この相談室は臨床心理士有資格者や臨床心理士の有資格者や臨床心理士の訓練を受けた相談員が、幼児から成人までのさまざまな心の悩みなどについて相談を受け付けています。児童生徒、保護者の対応などに関する教育関係者へのコンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。



臨床心理相談室では一般の人からの相談も受け付けています

ようにしています。さらに、専用の図書も整備し、計画的に蔵書の充実を図っています。加東キャンパスの図書館が所蔵する文献も取り寄せることができます。また、一般の人でも利用できる「臨床心理相談室」を開設しています。臨床心理士の有資格者や臨床心理士の訓練を受けた相談員が、幼児から成人までのさまざまな心の悩みなどについて相談を受け付けています。児童生徒、保護者の対応などに関する教育関係者へのコンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。

◎所在地



神戸市中央区東川崎町1-5-7神戸情報文化ビル3階
 交通アクセス: JR「神戸」駅、市営地下鉄「ハーバーランド」駅から徒歩8分、神戸高速鉄道「高速神戸」駅から徒歩13分

◎神戸サテライト臨床心理相談

社会に開かれた相談室として開設。臨床心理士の有資格者や臨床心理士になるための専門の訓練を受けた相談員が、こころの悩みなどを抱える幼児から成人までを対象に、さまざまな臨床心理学的技法を用いて幅広い相談に応じています。また、児童生徒、保護者の対応などに関する教育関係者へのコンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。

- 開設時間 平日(水曜を除く)14:00~19:00
土曜10:00~18:00
- 利用方法 電話で要予約(有料)
- 申し込み先 ☎078・361・5025



神戸市立西落合小学校教諭

にし の くに ひこ
西野邦彦さん

大学院専門職学位課程(教職大学院)
授業実践リーダーコース2年

A1

一言で言えば「自己研鑽」。学校現場での仕事を少し離れたところから見ることで新たな課題が見つかり、その解決方法を学べるのではないかと考えたからです。サテライトに通うのは時間的に慌しいですが、入学前よりも気持ちの充実度は高いように感じます。

A2

校種が違う教員たちと一緒に学ぶのは刺激的で、今年度は現職の校長もいます。学校現場での校長とは違う姿が見られ、不思議な気持ちになりますね。サテライトで学んだことを次の日に教室で生かせることが、夜間クラスに入って一番良かったと思うことです。

A3

入学以来、毎日がとても忙しいです。でも、振り返ると入学前も忙しいと思っていたなあと。つまり、モチベーションを上げることが働きながらでも学ぶことはできると思います。

夜間クラス生に聞く仕事と学業の両立

Q1 夜間クラスを選んだ動機

Q2 クラスの雰囲気や授業に対する感想

Q3 夜間クラスへの入学を考えている人に“先輩”としてのメッセージを

A1

教員になって20数年になりますが、私は教育学部の出身ではありません。兵庫教育大学の大学院で教育学を初歩から勉強し直したいと思いました。サテライトで学んだことをすぐに授業で生かせるのは強みだと思います。

A2

クラスの雰囲気は良いですね。心の教育実践コースには小中学校の教員や高校の養護教員、校長など7人の学生がいます。常に新しい刺激を受けて、非常に有意義な時間を過ごしています。授業では、生徒指導やカウンセリング、心理学、道徳教育などさまざまな角度から「心の教育」を学んでいます。

A3

神戸サテライトはJR神戸駅から徒歩から近いので、仕事と学業の両立には最高の立地だと思います。スキルアップを図りたいと考えている人にはお薦めですね。



神戸市立長坂中学校教諭

ふじ い けん すけ
藤井謙介さん

大学院専門職学位課程(教職大学院)
心の教育実践コース2年

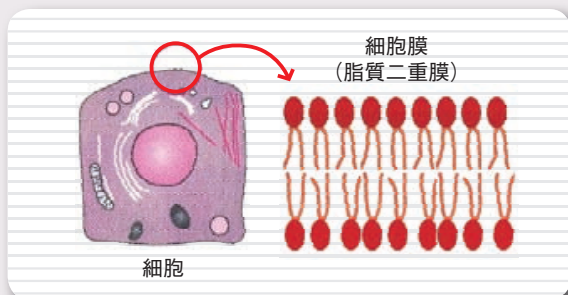


きしだえつ
岸田恵津
自然・生活教育学系教授

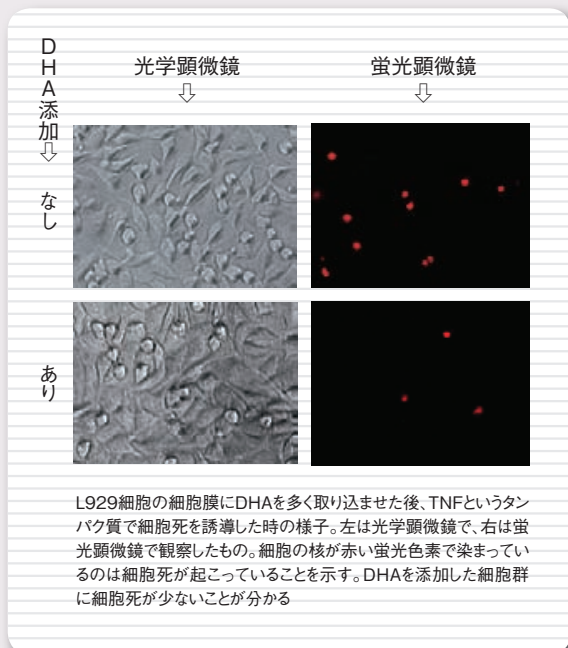
研究 レポート

このページでは日本学術振興会の科学研究費補助金を受けた研究を紹介いたします。科学研究費補助金は、すべての分野の「学術研究」を格段に発展させることを目的に、独自の・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、萌芽研究、若手研究に分かれており、萌芽研究は独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究が対象。研究期間は1～3年です。

【図1】



【図2】



食品成分は環境汚染物質の毒性を軽減する機能を有するか

(平成19～21年度科学研究費補助金萌芽研究に採択)

食品の安全・安心に対する国民の関心は高く、環境汚染物質の生体影響の評価とその軽減が課題となっています。環境汚染物質の一つであるメチル水銀には神経毒性があり、メチル水銀を多量に含む魚介類を摂取した人々に水俣病が発症したことはよく知られています。現在、メチル水銀汚染による中毒の危険性はほとんどなくなりましたが、低濃度の水銀汚染は地球規模で問題になっています。中でも、胎児・小児の精神、運動の発達に及ぼす影響への懸念

は大きくなってきており、日本でも平成17年、妊婦は一定の注意をしたうえで魚介類を摂取するようにという勧告が出されました。

魚介類の安全性は常に議論の対象となってきました。一方、魚介類には良質のタンパク質やドコサヘキサエン酸(DHA)、エイコサペンタエン酸(EPA)などの脂肪酸が含まれており、それらは私たちの健康維持に必要な不可欠な栄養素です。そのため、栄養素の有益性が通常レベルの汚染物質による

リスクを上回り、魚介類の摂取は望ましいとされています。しかし、栄養素に汚染物質の毒性を直接軽減できる機能があるとは考えられていません。そこで私たちは、魚介類の脂肪酸などがメチル水銀の神経毒性、特に神経細胞死を軽減するのかもしれないことを明らかにし、さらに、どうすれば毒性が軽減できるのかを考えました。

私は、DHAの機能について長年研究してこられた増澤康男教授(自然・生活教育学系)とともに研究に取り組んできました。実験室では生命体の基本単位である細胞を使って調べています。細胞を包んでいる膜は脂質二重膜になっています【図1】。DHAを培養細胞の細胞膜に多く取り込ませると、炎症反応にかかわっている物質によって引き起こされる細胞死を抑えられることを世界に先駆けて報告してきました。これは、ほかの脂肪酸には見られないDHAだけの作用であり、またビタミンEを同時投与すると相乗効果があったことから食

品中の栄養成分が疾病を制御できる可能性を示しました。その後の研究でも、DHAは細胞死全般を制御することが明らかになりました【図2】。また、米国のグループから神経細胞における細胞死に対して、DHAは抑制効果を持つことが報告されました。このような成果を踏まえて今回の研究課題を考え、取り組んでいるところです。

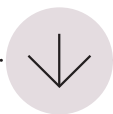
最後に一言。食品は薬ではありません。「魚を食べると頭が良くなる」や「魚は水銀に汚染されている」などの情報に振り回されず、日々の食事の基本は「主食・主菜・副菜のそろった食事」であることを心がけてください。



細胞死を調べているところ



近年、全国的に始まった「教職員評価制度」。
その仕組みとねらいについて教えてください。



Q&A

現在、「教職員評価制度」はほとんどの都道府県と政令市で実施されています。この制度は、従来の勤務評定制とは異なり、教職員一人一人が年度初めに目標を自己申告します。目標とは、学校ビジョンにベクトルを合わせた挑戦的で具体的なものです。年度末には、目標達成に向けた創意・工夫だけでなく、広く教育活動のプロセスや成果に対しても複数の管理職が分析評価し、教職員本人に結果を開示し、アドバイスをします。

教職員が難しい目標に挑み、その努力や成果を評価・アドバイスされることで、教職員の能力開発を促すと同時に、学校

ビジョンに全教職員が方向性を合わせた活動をすることで組織の活性化が図られます。つまり、勤務評定制が「評価」と、その結果を処理する「査定」を中心とした制度、言い換えれば評価の断面だけの制度であるのに対して、教職員評価制度は人と仕事に関するよりトータルな制度であり、教職員育成と学校組織活性化を通じて、学校の教育活動の充実をめざすシステムだと理解すべきでしょう。

教職員が「目標で育つ」「評価で育つ」ことを支援するのが教職員評価制度です。



あさのりょういち
浅野良一
基礎教育学系教授



教員の 著書紹介

Books



シティズンシップ教育・ キャリア教育・環境教育

(東京書籍・平成19年刊)

製作:「モノづくりを支える人たちの物語」
製作プロジェクト

渡邊満教授(基礎教育学系)を代表とする「モノづくりを支える人たちの物語」製作プロジェクトでは、松下電器産業(株)の全面的な協力のもとに、このDVD指導書を完成させました。

学校教育に関する今日的課題を念頭に置き、緊急の課題となりつつあるシティズンシップ教育やキャリア教育、環境教育にも活用できる教材を製作しました。このDVD指導書は、松下電器産業(株)の社会貢献事業の一環として無償で全国の学校に提供されています。学校の課題や取り組みに応じて活用してください。 推薦人:松本剛(臨床・健康教育学系准教授)

※教員の著書は附属図書館で閲覧できます。詳しくは学術情報課☎0795・44・2062へ問い合わせください。



「言語力」をつける 社会科授業モデル 小学校編

(明治図書・平成20年刊)

編著:岩田一彦(社会・言語教育学系特任教授)
米田 豊(社会・言語教育学系教授)

子どもの言語力の育成は、国語科だけでなく、すべての教科・領域において学校教育全体で取り組むものです。言語力をつけるためには、内容知につながる情報を習得させ、情報間の関係を納得的に分らせることが必要です。内容知8割、方法知2割で展開される社会科の授業は、言語力育成の面でも有効性が高いのです。

本書は、社会科における言語力の育成について、記述・報告、解釈、説明、判断をキーワードに、教育実践現場ですぐに使える理論と授業実践モデルを具体的に提案しました。

講義のたびにいただく アドバイスが楽しみです

新山眞弓先生の専門はピアノとソルフェージュ。演奏や授業に役立つ科学的・実証的研究をはじめ、ピアノの基礎的奏法や楽曲の演奏法を音楽教育にどのように生かしていくかについて研究されています。



音符の正確な書き方などの基礎的なことから、弾き歌いの際の伴奏の抑揚や感情表現といった専門的なことまで丁寧に指導してくださいませ。音楽は文字や言葉で伝えるのが困難なので、実際に演奏しながらの指導は大変分かりやすいです。講義中に発言する時は声の大きさや言葉遣いも指導してください、私たちは教員になる自覚を再認識します。講義中も教室内を歩き回り、学生一人一人の到達度を確認しながら助言されます。初めのころは声をかけられて緊張することもありますが、今ではどんなアドバイスもくださるのか楽しみに受講しています。

先生はプライベートでも学生との交流を大切にされ、しばしば一緒に食事をします。年度替

私たちの先生

新山眞弓 准教授
体育・芸術教育学系

学生1人1人に的確なアドバイスを送ってくださいます



わりにはクラス全員でお花見や食事会も開きます。いつも私たちの様子を気にかけてくださり、悩み事も親身になって聞いてくださるので、下宿してある学生にとっては母のような存在でもあります。

素晴らしい先生に出会えたことを誇りに思いながら、私自身もより多くのことを吸収して尊敬される教員になれるよう頑張っています。

新山眞弓 にいやま・まゆみ

岡山県出身。昭和56年、愛知県立芸術大学卒業。平成5年、兵庫教育大学実技教育研究指導センター講師に就任し、19年から学校教育研究科准教授に。保科理論によるピアノ独奏曲の楽曲分析・演奏解釈の研究、ATによるステージ・フライトの抑制法の研究などに取り組んでいる。日本演奏連盟会員。

かわい ま き 河合真希さん

学校教育学部芸術系コース2年



先生から学生たちへ

「現代の教育制度は、多くの知識を学生に教えますが、人間性をはぐくむことができていないのではないのでしょうか」とは、国連のチヨウドリ前事務次長の言葉です。私が学生たちと接する時に痛切に感じていることの一つです。

私は、大学時代に師事した先生に対して、専門知識の豊富さ以上に、生き方や人間性に対する尊敬の念が大きかったと思います。対話を重ねる中で、知識を生きた知恵に応用、転換し、社会に還元していくことも学びました。そのような学生を育てたいというのが、現在の私の教育目標でもあります。教育の知識や方法を習得するにとどまらず、人の痛みを理解し、児童生徒のために労を惜しまない教員になってほしいと心から願っています。



卒業生からの 手紙

新しい仕事で未知の世界を知る喜び

今年4月、初めての異動で、企画政策課の広報担当から総務課に移りました。総務課では給与に関することや職員の福利厚生などを担当しています。職員が1人異動するだけで保険や各種手当などのさまざまな変更が必要となるため、異動が多い4月は1年で一番忙しい時期です。

異動直後はゼロからのスタートで、仕事を覚えるだけで精一杯でした。給料日は待ってくれませんし、1円たりとも間違いが許されません。目まぐるしい毎日を送っていました。今は少し落ち着き、冷静に自分の仕事をこなせるようになってきています。総務課は対外的な仕事は少ないのですが、新しい言葉や制度、仕組みなどを知る機会が多く、「未知の世界に踏み込める」ことを楽しめるようになってきました。まだミスしてしまうこともありますが、そんな時こそ「自分が成長できるチャンス」だと考えて、反省しても落ち込まないようにしています。

また、「何事にも感謝の気持ちを忘れない」ということも、心がけていることの一つです。同じ部署、同じ部屋で働く者同士が気持ちよく仕事ができるように、素直に「ありがとう」が言える自分でありたいと思っています。

おおしなおみ

大西直美さん

加東市総務部総務課員



徳島県出身。平成13年に学校教育学部言語系コースを卒業し、1年間、加東郡（現加東市）の小中学校に臨時教員として勤務。その後、旧社町に採用される。今年4月、企画政策課から総務課に異動した。

広報のころに比べて職員からの問い合わせの数が格段に増えました



わだひろゆき
和田博之さん

大阪府高槻市立上牧小学校教諭

大阪府出身。平成17年、大学院修士課程言語系コースを修了後、高槻市の中学校に講師として勤務しながら小学校教員免許状を取得。19年、高槻市立上牧小学校に着任。今年度は6年生を担当している。

3年前に大学院を修了後、中学校の常勤講師として英語を教えていました。仕事の傍ら、通信教育で小学校教員の免許状を取得。小学校教員になって1年目の昨年度、いきなり2年生を担当することになりました。中学生を相手にしてきた自分にとっては、いろいろなことが初体験でした。

一番困ったのは言葉がうまく伝わらないことでした。ある日、「プリントを提出してください」と言ったら、子どもたちは意味が分からず戸惑ってしまいました。それからは子どもたちの反応を見ながら、やさしい言葉で話すことを心がけてきました。

今年度は6年生を担当しています。低学年と比べて、学校全体にかかわる活動や学年で取り組む行事が多くあります。5月の修学旅行もみんな元気で無事に終えることができました。子どもたちにとっては小学校最後の1年です。担任として、彼らに生涯忘れられない良い思い出を残せるようベストを尽くしたいです。

これからも子どもたちから学ぶ姿勢をいつまでも大切にし、日々努力していきたいと思っています。

小学校教員の仕事に奥の深さを実感

英語活動で絵本「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」を読み聞かせ



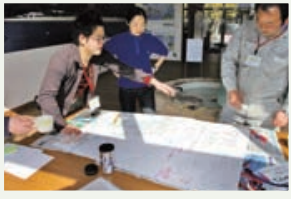


スポット・ライト

よこやま だい き
横山大樹さん

学校教育学部自然系コース4年

姫路市出身。平成17年に入学して以来、各地の環境教育活動に積極的に参加。今年2月には「海辺の環境教育フォーラム2008inいえしま」の実行委員を務める。その後、学生による海辺の環境教育活動団体「やちうちゅう」、海辺の活動ネットワーク「海・ぐる〜ネット」を立ち上げる。



フォーラムの分科会にて(相楽充紀撮影)

ダイバーや水族館の職員、漁師らが海に関する環境教育の在り方について討議し、交流を深める「海辺の環境教育フォーラム」。8回目となる今年は2月29日から3日間、家島群島の西島(姫路市)にあるいえしま自然体験センターで開かれました。

横山大樹さんは大学入学後、相済湾のエコツアーや大阪湾でのアマモの

植え付けなどにボランティアで参加。それらの実績が認められ、学生でただ一人、フォーラムの実行委員に名を連

子どもたちの環境保全に対する意識をはぐくむ教員をめざして

●海辺の環境教育フォーラムとは

海辺の環境教育にかかわる人のネットワークづくりを掲げ、平成13年に静岡県西伊豆でスタート。以来、各地の沿岸地域で開催されています。ダイバーや水族館職員、漁師、NPO法人、学校教員などが参加し、海辺の環境教育を考えるミーティング、その報告書の作成、メーリングリストの運営が主な事業。8回目の今年初めは瀬戸内海沿岸、家島(姫路市)で開かれました。



(相楽充紀撮影)



実行委員会が作成したフォーラムの報告書。1,000円。購入希望者は garasan@rc5.so-net.ne.jp (実行委員長代理:相楽充紀)にてメールを



フォーラムのポスターセッションに環境教育の様子を描いたポスターを出品。学生特別賞を受賞しました

らったことから魚に興味を持つようになりました。高校時代は友人たちと川や海に出かけ、魚を捕まえては自宅で飼育し、その生態をつぶさに観察していたそう。しかし、

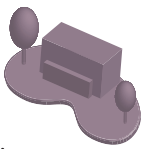
思ったんです。魚に興味を持つきっかけを与えてくれた恩師と同じ職業を志したのは、不思議な巡り合わせかもしれません。

環境教育のボランティア講師を務める機会も多く、オリジナルの教材を用いることもしばしば。「どんな鳥の鳴き声が聞こえたか」などの質問をつづつた自然散策カード、魚の外見の特徴を学べるカラー魚拓などには、「将来、子どもが生き物や自然に対しておのずと興味、関心を高められるような授業がしたい」という思いが込められています。

漁協や水族館などとの連携が必要だということでした」と振り返ります。もともと水族館の研究職に就きたかったという横山さん。小学6年生の時、釣り好きだった担任教員に絶滅危惧種の淡水魚、オヤニラミを見せても

高校3年生の夏、あることを機に小学校教員をめざすことを決心します。「魚を気味悪がっていた友人が川や海に通ううち、自分から魚に触れるようになっていました。その時、生き物とふれあうことの大切さを伝えたいと

8月の教員採用試験に向けての勉強もラストスパート。自作の教材が活躍する日もそう遠くありません。



これに夢中!



よしかわ みき
吉川美希さん

学校教育学部芸術系コース4年



発表会は大成功!子どもたちと笑顔で記念撮影



本番前の1コマ。ダンスを入念にチェックします

子どもたちに チアを教えて 「元気・勇気・笑顔」を

2年生の時にチアリーディング部のキャプテンになりました。大会に出場したり、学祭を盛り上げたりと、さまざまな経験を通してチアの素晴らしさを学びました。

チアは見る人に「元気・勇気・笑顔」を与えるスポーツです。引退した現在も、より多くの人にチアの魅力を知ってもらおうと、学校が長期休業の時に子どもたちに教えています。2年前に出会った子どもの一人にダウン症の女の子がいました。彼女はみんなで活動することが苦手でしたが、チアに取り組む中でたくさんの成長が見られました。彼女たちに教え始めたころは、みんな自分のダンスを覚えることに精一杯でした。しかし、練習を重ねるにつれて子ども同士で教え合い、助け合う姿が見られ、最終日には発表会を成功させました。子どもたちの懸命な姿勢に、私が「元気・勇気・笑顔」をもらったような気がします。

N e w F a c e

現職のころに 果たせなかった 課題解決に取り組みたい



おきの しんいち
沖野信一さん

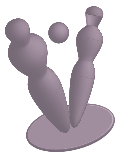
大学院専門職学位課程(教職大学院)
授業実践リーダーコース1年

私は金沢の大学で物理学を学びましたが、卒業後は人の役に立つ仕事をしたと、郷里の兵庫で消防隊員になりました。しかし、教員になりたいという思いを抑えられず、教員免許状を取得しました。それから10余年、石川県の中学、高校の教壇に立ちました。教員の仕事に対する熱い思いは変わらないものの、理想と現実のギャップに悩むことが多々ありました。多忙な職場ではその対処法をじっくり考えることもできないまま、場当たりの指導を繰り返してしまうことにジレンマを感じ



ていました。

教職大学院では今日的な教育課題に対して、多分野の先生方から、さまざまな視点で指導していただけることとても魅力を感じています。先生方や学友とともに、教職大学院の新しい歴史を創造する喜びを実感しながら、好奇心の羽を大いに広げて、研究・実践活動に取り組んでいきたいと思っています。



うれしの交差点

～兵庫教育大学と地域の交流ページ

ルポ

よさこい部「チーム鬼灯」^{ほおずき}

今年で結成10年目を迎えたよさこい部「チーム鬼灯」は昨年度から北播磨県民局の「北播磨地域ビジョン」委員会の一員として地域交流活動により力を入れています。



ダイナミックなよさこいで 地域住民との交流の輪を広げます



↑今年3月に開催したチームの自主イベント「よっ社こいこいまつり」。地域のよさこいグループが競演し、露店なども並びました
➡マイクを手にメンバーを鼓舞する沼田さん



西脇市高松地区にある長明寺は平安末期の武将、源頼政ゆかりの寺。毎年4月29日に開催される「頼政祭」は地区を挙げての一大イベントで、今年も境内には大勢の人が集まりました。区長らの開式のあいさつに続いて、兵庫教育大学よさこい部「チーム鬼灯」の面々が登場しました。

黒と白のツートンカラーの衣装に身を包み、鳴子を手にした部員たちは躍動感あふれる踊りを披露。鳴子の軽快な音に誘われた手拍子が境内全体に響き渡り、大盛況のうちに踊り終えました。

「初めて頼政祭に出演させていただきました。境内が砂地だったので足を取られたりと、いつもと勝手が違う部分もありましたが、まずまずのパフォーマンスをお見せできたと思います。今回のご縁を大切に、これからも交流を深めていければ」と部長の勝呂良太さん（学校教育学部3年）。

発足から10年目を迎えたチーム鬼灯には、大学院生や留学生も含めて男女30人の部員がいます。全国各地の大会に出場するほか、学校に向いて児童生徒に踊りを教えたり、地域の祭りに参加したりしています。頼政祭に招かれたのは、



教職員の研修会や 生涯学習の場に 大学教員が出張講義します

スクール・パートナーシップ事業

小・中・高校などの教育現場での教職員の研修会をはじめ、自主的な研究グループ、学習サークルといった地域の生涯学習の場に大学教員を派遣します。平成14年度のスタート以来、「教員の資質向上」「教育の質的向上」「地域内教育の活性化」「児童・生徒等の学習意欲の向上」を4本柱に数多くの講座を開いてきました。今年度は講座内容をさらに充実させ、社会の変動とともに日々変化する学校現場の要望や、高度化・多様化する生涯学習のニーズに応えます。

◎派遣依頼の方法

①講座テーマを一覧にした

パンフレットを請求(大学ウェブサイト <http://www.hyogo-u.ac.jp/office/chiiki/chiiki/partnership20/schoolpartner.html>)にも一覧を掲載)

②パンフレットで希望の講座テーマが見つければ担当教員に直接連絡を取り、日程や講義内容などを打ち合わせる③大学に「派遣依頼書」を送付する

◎事業利用料

1回の派遣につき2万円(別途派遣先までの往復の交通費)。開講日の5日前までに入金していただきます。ただし、兵庫教育大学大学院と連携協力校の協定を結んでいる学校からの依頼については事業利用料を免除します。

◎パンフレットの請求と問い合わせ

地域交流推進センター ☎0795-44-2053



ベネッセ教員育成研究 奨学金事業をスタート

創立30周年と教職大学院の開設を記念し、今年度から現職教員の大学院生を対象に、研究奨学金を支給する事業を始めました。この事業は㈱ベネッセコーポレーションからの寄附金を活用したもので、現職教員の実践的な研究を奨励し、わが国の学校教育に有用な人材の育成に寄与することを目的とします。詳しくは<http://www.office.hyogo-u.ac.jp/stu/syougaku/doc/benesse.html>をご覧ください。

Ureshino Scramble

→「賴政祭」では「正調よさこい」「ハレルヤ」の2曲を踊りました

北播磨地域ビジョンとは

北播磨県民局が音頭を取り、住民の参画と協働のもと、地域の資源や財産を最大限に生かしながら、真の豊かさや生活の楽しさを実感できる地域づくりの方向性を明らかにしようとして提案するものです。

◎心肺蘇生法を普及させ「命の教育」を推進していこう

北播磨地域の中学校を中心に心肺蘇生法やAEDの講習「命の教育」を行っています。

◎ちょっと素敵な北バーン創造委員会

北播磨地域の青年会議所が中心となり多くの若者を巻き込みながら、まちづくり活動に取り組みます。

◎歩いて見ようよ 北播磨

地域の自然、文化、歴史の再発見やウォーキングによる健康維持をめざしコースマップを作成。各団体のウォーキングイベントを応援し、新たなコースもつくりまします。

◎北播磨の自然を生かした活動を考えるグループ

北播磨の大きな財産である自然を守り、楽しみながら地域コミュニティを活性化させていく方法を検討します。

◎地域子どもの日をつくらう

子どもと遊ぶイベントを年に数回実施。子ども会や子育てグループに竹とんぼ作りや紙細工などのノウハウの提供もしています。

◎チームあいあい☆子ども夢プラン☆

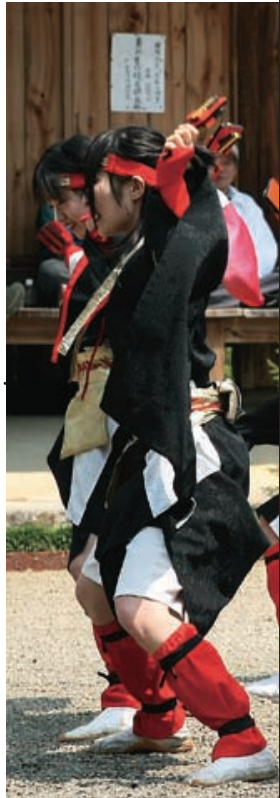
ビジョン委員会に参加している若者が中心となり、子どもたちが考えた体験イベントを実施します。

◎「よさこい」を活用した地域交流グループ

兵庫教育大学よさこい部「チーム鬼灯」がよさこいを通して地域住民との交流を深めます。

◎JR加古川線沿線駅を交流の場に

JR加古川線の駅とその周辺整備、鉄道の利用促進などに取り組み、地域住民の交流の場づくりをめざします。 など



チームが昨年度から、北播磨県民局が住民とともに魅力ある地域づくりを進める「北播磨地域ビジョン」の委員会に加わったからです。

部員たちに入会を勧めたのは、同委員会の企画部会長を務める森田啓之講師(体育・芸術教育学系)。「彼らはかねてから積極的に地域の人々と交流してきたので、委員には好適でした。賴政祭に出演したのも委員会での祭りの関係者と知り合ったのがきっかけです」。ビジョンの趣旨に沿った活動であれば一部の費用が助成されます。部員の沼田梨絵さん(学校教育学部2年)は「私たちは踊るのが大好き。よさこいの魅力を紹介できる機会が増えるのはうれしいことです」と話します。

「ホオズキの赤い実のように弾けた踊りを見たい」というのがチーム名の由来。北播磨の地域づくりのメンバーとして、今後もよさこいを通して多くの人々に笑顔の花を咲かせます。

◎平成21年度学生募集

☆学校教育研究科

◎入学定員 修士課程200人、専門職学位課程(教職大学院)100人

前期と後期の2回に分けて募集します。

<前期選抜試験>

修士課程

◎募集人員

▶学校教育学専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	8人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	8人
	夜間クラス	若干人
学校心理学コース	昼間クラス	15人
臨床心理学コース	昼間クラス	25人
▶特別支援教育学専攻		
心身障害コース		18人
特別支援教育コーディネーターコース		8人
▶教科・領域教育学専攻		
言語系コース	昼間クラス	18人
	夜間クラス	若干人
社会系コース	昼間クラス	16人
	夜間クラス	若干人
自然系コース	昼間クラス	13人
	夜間クラス	若干人
芸術系コース	昼間クラス	15人
	夜間クラス	若干人
生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	16人
	夜間クラス	若干人

専門職学位課程(教職大学院)

◎募集人員

▶教育実践高度化専攻		
学校経営コース		20人
授業実践リーダーコース	昼間クラス	25人
	夜間クラス	若干人
心の教育実践コース	昼間クラス	16人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		25人

◎出願期間 7月18日☎～25日☎(消印有効)

◎試験日 8月23日☎(筆記・口述)、24日☎(口述)

◎合格者の発表 9月12日☎10:00

<後期選抜試験>

修士課程

◎募集人員

▶学校教育学専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
学校心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	5人
臨床心理学コース	夜間クラス	15人
▶特別支援教育学専攻		
心身障害コース		2人
特別支援教育コーディネーターコース		2人
▶教科・領域教育学専攻		
言語系コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
社会系コース	昼間クラス	4人
	夜間クラス	若干人
自然系コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
芸術系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	4人
	夜間クラス	若干人

専門職学位課程(教職大学院)

◎募集人員

▶教育実践高度化専攻		
学校経営コース		若干人
授業実践リーダーコース	昼間クラス	5人
	夜間クラス	若干人
心の教育実践コース	昼間クラス	4人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		5人

◎出願期間 10月10日☎～17日☎(消印有効)

◎試験日 11月15日☎(筆記・口述)

◎合格者の発表 12月5日☎10:00

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。

※言語系コースには国語分野と英語分野、自然系コースには数学分野と理科分野、芸術系コースには音楽分野と美術分野があります。

☎入試課 ☎ 0795-44-2067

◎大学院学校教育研究科説明会

神戸、大阪、東京で開催。大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談の時間も設けます。

◎神戸市総合教育センター

6月14日☎、28日☎、7月12日☎、9月13日☎、27日☎、10月4日☎13:30～15:00

◎キャンパス・イノベーションセンター大阪

7月5日☎、9月20日☎14:00～15:30

◎キャンパス・イノベーションセンター東京

7月5日☎、9月20日☎13:30～15:00

☎入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☑ office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp

◎平成20年度大学院
オープンキャンパスウィーク

神戸サテライトで夜間クラスの授業を公開します。

◎日時 6月23日☎～25日☎、27日☎の18:00～21:50

◎場所 兵庫教育大学神戸サテライト

☎企画課

☎ 0795-44-2008 ☎ 0795-44-2009

☑ office-kikaku-k@hyogo-u.ac.jp

◎平成20年度学校教育学部
オープンキャンパス

受験生やその保護者、高校の進路指導担当者などが対象です。

◎日時 7月20日☎11:00～16:00

(受付開始10:30～)

◎場所 兵庫教育大学

☎入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☑ office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp

◎公開講座の受講生募集

コンパスのみで作図する一作図問題を巡る話一

◎日時 8月8日☎13:00～16:30

◎場所 兵庫教育大学共通講義棟

◎対象 中学生以上、小・中高校の教員

◎定員 10人(受講希望者が2人以下の場合には開講しません)

◎受講料 4,700円

☎地域交流推進センター ☎ 0795-44-2053

編 集 後 記

●今年度で創立30周年という区切りを迎える兵庫教育大学は、多難な教育現場の要求に対応できる人材の育成に取り組んできました。夜間大学院の開設や教職大学院の設置といった他大学に先駆けた教育環境を整備したのも、その一環です。今号は、本学の30年の歩みと新しい教育体制を広く知っていただければとの思いで編集しました。(な)

●新たなスタッフとともに編集した第1号が完成しました。前号までご尽力いただいたスタッフのみなさんに感謝するとともに、新体制でこれからも「兵教大の輝き」を広くお伝えしていきたいと決意を新たにしています。今年度に発行する「教育子午線」は「創立30周年記念特集号」として従来よりもボリュームアップします。お楽しみに。バックナンバーは本学ウェブサイトhttp://www.hyogo-u.ac.jpでご覧いただけます。(に)

◎あなたの声をお聞かせください

「教育子午線」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナル・シャープペンシルを進呈します。

●あて先: 〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学企画課広報・社会連携事務室

☎ 0795-44-2334 ☎ 0795-44-2009 ☑ office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

教育子午線
Kyoiku-Shigosen

第17号 2008年6月発行
発行/兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp
編集協力/神戸新聞総合印刷